

モーツアルト作曲 全4幕日本語上演

二〇〇九年度 鳥取オペラ協会公演

Le Nozze di Figaro

結婚のフイガロ

2009年10月3日(土) 午後5時 開演 (午後4時30分開場)

10月4日(日) 午後2時 開演 (午後1時30分開場)

米子市公会堂 大ホール



主催 烏取オペラ協会・鳥取県文化団体連合会

TOHO ARTS
アート

フィガロ プロフィール



<演出>

中村敬一（なかむら・けいいち）

舞台監督・團長「ザ・スクワット」に所属し、オペラスタッフとして活躍した後、1989年より文化庁在外派遣研修員としてウイーン国立歌劇場にてオペラ上演を研修。帰国後、「フィガロの結婚」「ドン・ジョヴァンニ」「ボッベアの戴冠」(モーツルト作曲)の公演で高い評価を得、更に「三部作」(アッティーナ作曲)や、制作舞台「梵天巣、北風と太陽」で、演出力で高評価され、1995年ジョー・オペラ新人賞を受賞する。また、2000年3月には新国立劇場デビューアーティストとなる「沈黙」が高く評価される。2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演「ロシマのオペラ」(クラシック)では、大阪府立芸術文化センターにて公演。2002年3月には、新国立劇場「魔笛」を上演。公演は大阪文化芸術祭で上演。その大阪音楽大学公演が、文化庁芸術祭大賞を受賞。2003年に「ローラン・カスカ」(モーツルト作曲)、再び新国立劇場「魔笛」を上演。公演は大阪文化芸術祭で上演。各公演はオペラ公演で引っ張る存在となり、今後も多忙な演出家として注目されている。そんな中にあって、鳥取県をはじめ、地方に存在する声楽家の育成にもオペラの普及にも貢献したのに大きな功績を果たした。また、オペラの台本も手がけ、2002年国民音楽大学客員教授。大阪音楽大学、大阪教育大学講師。

<指揮>

松岡 実（まつおか・はかる）

1987年、ドッセッティの「ピーラ・ラ・マン」でデビュー。1991年文化庁在外派遣研修員として、ハンガリー・ブダペストにて留学。帰国後、主に日本オペラ・プロデュースを主に数々のオペラを指揮。日本初演した作品は数多く、今は「歌劇」「ミュツク」「無限少女」等、舞台脚本家として脚本執筆も行う。2000年3月には新国立劇場デビューアーティストとなる「沈黙」が高く評価される。2001年ザ・カレッジ・オペラハウス公演「ロシマのオペラ」(クラシック)では、大阪府立芸術文化センターにて公演。2002年3月には、新国立劇場「魔笛」を上演。公演は大阪文化芸術祭で上演。その大阪音楽大学公演が、文化庁芸術祭大賞を受賞。2003年に「ローラン・カスカ」(モーツルト作曲)、再び新国立劇場「魔笛」を上演。公演は大阪文化芸術祭で上演。各公演はオペラ公演で引っ張る存在となり、今後も多忙な演出家として注目されている。そんな中にあって、鳥取県をはじめ、地方に存在する声楽家の育成にもオペラの普及にも貢献したのに大きな功績を果たした。また、オペラの台本も手がけ、2002年国民音楽大学客員教授。大阪音楽大学、大阪教育大学講師。

<伯爵>

西岡千秋（にしおか・ちあき） 3日 4日

武藏野音楽大学団大学院声楽科修了。市田キヨ子、疋田生次郎各氏に師事。数々のオペラ出演の他、リサイタルをはじめとする演奏活動を各地で行っている。県内においては第9回企画のソリストを務めたり、アゼレアのまち音楽祭、鳥取県の音楽家たちコンサートなど常連演奏家として活躍。オペラでは、これまでの鳥取オペラ協会公演すべてに出演。また、全公演のプロデューサーも務める。現在、鳥取大学地域学部附属芸術文化センター准教授、鳥取オペラ協会副会長、鳥取県合唱連盟副理事長。

<伯爵夫人>

鈴木雪絵（すずき・ゆえい） 3日

作陽音楽大学音楽学部音楽学科声楽専攻卒業。阿部靖子、森山俊雄、斎平、平野弘子の各氏に師事。鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」「ボーラーノの現場」に合唱参加。「ドン・ジョヴァンニ」「ドン・エリヴィア役」、「バッハ三部作」「北風と太陽」太陽役で出演。

尾元加寿子（おとま・かすこ） 4日

作陽音楽大学声楽科卒業。モーヴァルテム音楽院（オーストリア）にて声楽を学ぶ。坂本朱美、ルドルフ・クノール、平野弘子の各氏に師事。アゼレアのまち音楽祭、鳥取オペラ協会のオペラ公演、山陰の名手たちコンサートなどに出演。国民文化祭ととり2002、オペラ「ボーラーノの現場」では、ロザーロ役を務める。鳥取オペラ協会理事。

<サンパン>

小林美香子（おぐら・みかこ） 3日

作陽音楽大学声楽科卒業。同上校専攻科修了。オペラマイスタークラス研究生課程修了。船瀬幸子、西内玲、フォルカ・レニッケ、小松英美、吉田麻里、平野弘子の各氏に師事。「コシ・ファン・トゥッテ」「フィガロの結婚」「魔笛」「ボーラーノの現場」「ドン・ジョヴァンニ」「アマールルと夜の訪問者」イソップ三部作「羊飼いと狼」に出演する。

アゼレアのまち音楽祭参加。

わらべ歌、童謡、唱歌伴奏。鳥取オペラ協会理事。

野津美和子（のづみ・みわこ） 4日

鳥取県立教育大学特別音楽課程（声楽科）卒業。声楽を藤井文子、常森寿子、菅英三子、経種康彦各氏に師事。オペラ：秘密の結婚（カロリーナ）ドン・ジンバ・パニ（フルリーナ）ボーラーの現場（ファゼロ）アマーラと夜の訪問者（アマーラ）コシファン・トゥッテ（デビーナ）オペラハイライト版：椿姫（ヴィオレッタ）ホーム（ミミ）の声楽（アディーナ）樂ヶ夫夫人（樂ヶさん）フィガロの決闘（サンザン）等に出演。第7回16回島根県民手作りの「第九」にソプラノリストとして出演。アゼレア音楽祭、山陰の名手たち、プラバニユイーオペラコンサート等様々なコンサートに出演。今後は第6回山陰の名手たちに出演予定。

<フィガロ>

山田康之（やまだ・やすゆき） 3日

鳥取大学教育学部卒業。西岡千秋氏に師事。これまでに「コシ・ファン・トゥッテ」のグリエルモ役、「フィガロの結婚」のフィガロ役、「ドン・ジョバンニ」のレボランゴ役、「魔笛」のパパゲーノ役など数々のオペラに出演。現在、上北条小学校に勤務。鳥取オペラ協会理事。

吉田章一（よしだ・あきかず） 4日

鳥取大学教育学部卒業。広島大学大学院学校教育研究科修了。声楽を小室英美、西岡千秋、佐藤辰、吉田健夫、平野弘子の各氏に師事。ショーベルトやシャンソン、グラムスなどドイツ歌のコンサートのほか、モーヴァルトやフルールのレクイエム、バッハのヨハネ・マタイ受難曲、亨德尔のメサイア、ベートーヴェンの第九等のリストを務める。オペラでは2002年の国民文化祭オペラ公演「ボーラーノの現場」で主役のキュニデルを歌い、高く評価された。CDシーケルバートの「冬の旅」リリース。現在、淀江小学校勤務。鳥取オペラ協会理事。

<ケルビニー>

佐々木まゆみ（ささき・まゆみ） 3日

昭和音楽大学音楽学部声楽学専攻卒業。同上校専攻科声楽科首席修了。修了時学長賞受賞。これまでに生原幸枝、樋畠理恵、田野崎加代の各氏に師事。

05年鳥取オペラ新人公演「コシ・ファン・トゥッテ」「バステイアンとバステイアン」「バステイアンズを好演。06年第二回声楽オーディションにて優秀賞受賞、オペラ「コシ・ファン・トゥッテ」、山陰の名手コンサート、こどもの家園コンサート出演。07年企画藝術文化祭オペラ「春香」で春香を好演。08年オペラ「イソップ物語」太陽役。09年よりアゼレアのまち音楽祭コンサートに出演。現在平野弘子氏に師事。鳥取オペラ協会員。

中橋芳恵（なかばし・よしえ） 4日

國立音楽大学ピアノ教導専攻卒業。

東京ミュージック＆メディアアーフィティロマ学部ピアノコース修了。ピアノを三富二葉、和久利幹子、故川栄一郎・竹内、糸川、酒匂淳の各氏に師事。声楽を生原淑子、鶴間川、常松裕子、石井高子の各氏に師事。現在、後進の指導にあたりるとともに、合唱のピアニスト兼指導、声楽・器楽の伴奏など、県内外で幅広く演奏活動を行っている。また、今春より鳥取大学大学院地域学研究科地域連携准教授に就任。新倉健氏のもとで作曲法を学んでいる。

<マルチエーナ>

米澤 幸（よねざわ・さち） 3日

鳥取県立島根県立高校声楽科卒業。声楽を平野弘子氏に師事。

「こうさくマシロの物語」「童謡」「フィガロの結婚」「魔笛」「コシ・ファン・トゥッテ」「イソップ三部作（金の斧、銀の斧）」等に出演。現在、山陰銀行金庫支店勤務。

鶴崎千晴（つるさき・ちはる） 4日

武藏野音楽大学声楽科卒業。声楽を森原紀子、藤田みどり、佐伯真恭子、平野弘子の各氏に師事。ジョイント・コンサート、ソリソライタルはか、鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」（伯爵夫人）、「アマーラと夜の訪問者」（母親）、RAKUGOPERA「ドン・ジョヴァンニ」（ドン・エルヴィラ）、イソップ三部作「金の斧、銀の斧」（よきこり）出演。アゼレアのまち音楽祭参加。鳥取オペラ協会理事。



<バルトロ／アントニオ>

川西 悠紀（かわにし・ゆうき） 3日 4日

東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。声楽を三原重行、高橋大海、直野貴、経種康彦の各氏に師事。第39回イクリア声楽コンソルツに入選。第20回、21回「ボラーナピュイ・イヤオ・オペラコンサート」に出演する等。オペラから演奏会まで幅広く活躍している今後の予定は11月2日2回の第6回公演の名のうち、12月13日の第18回鳥取県民手作りの「第九」でバッソ、来年7月の出雲市民オペラ「椿姫」でドゥォーレ男爵で出演予定。

<パジリオ>

松本厚志（まつもと・あつし） 3日 4日

鳥取大学教育学部卒業。山田英美高校、鳥取大学混声合唱団フィルコールに所属し、佐々木道也氏に師事。1999年鳥取オペラ協会公演「フィガロの結婚」に合唱参加。翌年「魔笛」モノスタット役でソリストデビューや好評を得る。「フィガロの結婚」パジリオ役、国民文化祭とöttori 2002オペラ「ボラーノの廣場」村人役、「ドン・ジョバンニ」オッターピオ役、「アマール夜の訪問者」カスパール役、「コシ・フラン・トゥッティ」では、フェラード役で好評を得る。現在、倉吉市立灘上小学校教頭。鳥取オペラ協会会員



<クルチオ>

関 力仁（せき・りきと） 3日 4日

西岡千秋の師事。2008年に鳥取西高等学校吹奏楽部定期演奏会にゲスト出演する。同年、日南町で開催されたコンサート「フッペルは知っている2008」にてデュエットで演奏する。鳥取オペラ協会公演「イソップ三部作」に声楽アンサンブルで参加。鳥取大学工学部3回生。



<パリバーナ>

小倉知子（おぐら・ともこ） 3日 4日

佛教大学教育学部卒業。卒業時学長賞受賞。声楽を生原幸枝、西岡千秋の各氏に師事。オペラ「アマールと夜の訪問者」合唱、「リゴレット」小姓役で出場。2009年文化庁「文化芸術による創造のまち」支援事業にてオペラ「ヘンゼルとグレーテル」グレーテル役でアウトドーム活動を行う予定。現在、鳥取大学大学院地域学研究科地域創造専攻にて、声楽を学んでいる。



<花姫>

錢龟勝美（ぜにがめ・むつみ） 3日 4日

大阪音楽大学短期大学部卒業。卒業後学長賞受賞。声楽を中井美恵子、松田昌恵、平野弘子の各氏に師事。オペラ「魔笛」、「アマールと夜の訪問者」、「コシ・フラン・トゥッティ」など合唱出演。



井田裕子（いだ・ゆうこ） 3日 4日

東京音楽大学音楽学部声楽学科卒業。在校中、歌劇「魔笛夫人」「姫様」など合唱で出演。その後、NHK交響楽団をはじめ読売日本交響楽団、日本交響楽団と合唱で活動。これまでに白石由美子、中澤桂、大川隆子各氏に師事。



<鳥取県オペラ協会声楽アンサンブル>

ソプラノ：鈴木百千子、山根理子、吉谷貴子

アルト：持井美央、丸山和歌奈、丸山詩穂子、山本藍子。

テノール：浅井英美、原田明、八木康行。

バス：上川栄光、西村憲郎、柳翔太、鶴見直樹。

<エンクス室内オーケストラ>

湯瀬浜町在住の医師「吉田明義氏」が主宰するプロ・アマ混成の版でハイレベルな室内オーケストラ。設立当初から指揮を担当するプロの指揮者「佐藤亮介氏」の熱意をもとに、各地のオーケストラから参画したメンバーによって編成されている。よりレベルの高い音楽の追究をしたいと、音楽家としての自立を求めるアマチュア奏者にプロ奏者がゲスト参加して、素晴らしい音楽を駆ぎ出す限りなくプロに近い演奏集団。

コンサートマスター：吉田明義

1stヴァイオリニン：吉田明義　曾田千鶴　野田知留　矢尾真希　荒井ゆうき

2ndヴァイオリニン：水江佳代　佐藤伸一　平井誠輔　原才知井　久保樹子

ヴィオラ：松永桂子　北山三枝子　益尾恵美　岩崎美音

チェロ：原田友一郎　須木本竜剛　中野浩也　鈴田明子

コントラバス：生田洋子　渡邊雄也　大津敬一

オーボエ：古川雅彦　三代知枝

フルート：稻田真司　古瀬由美子

クラリネット：杉山田祐司　香山田祐子

ファゴット：木村恵美　桑名康二

ホルン：石和田淳　小畠智恵子

トランペット：玉崎勝守　川口康文

ティンバニー：齋田真平

<チエノロ>

兼田恵理子（かねだ・えりこ）

武藏野音楽大学音楽学部器楽学科ピアノ専攻卒業。新田恵理子、コッホ・季子の各氏に師事。アゼレアのまち音楽祭において、アゼレア室内オーケストラ公演の他、ソリストやタル等サロモンコンサートに出演。

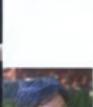
現在、後進の指導にあたりとともに、声楽、器楽の伴奏者として各地で演奏活動を行っている。倉吉市在住。鳥取オペラ協会ビアニスト。



<副指揮>

上萬雅洋（じょうよまん・まさひろ）

青谷町出身の若手作曲家。鹿野町民ミュージカルの作編曲、指揮を十年以上務め、生涯学習フェスティバルをはじめ様々なイベントで公演され好評を得る。また、岡野真一生涯30周年記念コンサートでは、曲「岡野真一」を自らの指揮で発表。その他のにも合唱曲、管弦曲、室内楽曲、吹奏楽曲の作編曲、指揮。またバレエの音響、前衛の音楽を担当するなど様々な活動を展開中。昨年より鳥取オペラ協会の副指揮者に就任。保育園等でのミニオペラ公演で指揮。鳥取市交響楽団団長、鹿野町民ミュージカル音楽監督、作曲工房「ババゲー」代表。



新倉（にいくら・けん）

神奈川県生まれ。作曲を福島雄次郎、金光威和雄、指揮法を長谷川朝彌、久保田洋の各氏に師事。主な作品に「マドリガル」「ゴンダ・エカラマ・ブダヤ」などがある。また、NYタイムズにより好評を受け米国各地で演奏された「鳥島が言わせる言葉」をはじめ、「ギーターンジャリ」「歌の祭り」などは海外でも演奏、出版、放送され高い評価を得ている。数々の舞台作品も発表しているが、特に2002年に鳥取オペラ協会により初演されたオペラ「ボラーノの廣場」が絶賛されたことは記憶に新しい。現在、鳥取大学地域学部附属芸術文化センター教授。



<スタッフ>

総合アートディーク：西岡千秋

美術：野崎みどり

照明：榎本 実

衣裳：下斗米大輔 株式会社エフ・ジー・ジー

プログラムポスター等（デザイン・イラスト）：西岡千春 恵

舞台監督：山中 舞

副指揮：上萬雅洋 新倉 健

演出補：西岡千秋

練習ピアノ：兼田恵理子、細麻紀、山下良子、瀬川則子

ナレーション：山根修子

企画・制作：計羽孝之

<アンダースタッフ>

伯嶋夫人 銀田詠美

スザンナ 小倉知子

ケルビーノ 井田裕子

パジリオ 関 力仁